

引率の先生方へのお願い

美術館は作品を後世に引き継ぐため、展示作品の保護の役割も担っています
そのため、作品に傷をつけないよう展示室でのマナーを守って鑑賞します。引率当日は、以下のポイントを参考に、先生方には見守り活動をお願いいたします。

■活動時のお願い

① 移動時は、児童・生徒が列からはぐれないよう誘導してください

レクチャーの部屋から展示室への移動する際は、一番後ろからついてきてください。移動先への先導は、ボランティアもしくは館のスタッフが行います。

② 作品と鑑賞者双方の安全のために、児童・生徒の動きを見守ってください

=具体例=

- ・走っていないか
- ・作品に近づきすぎしていないか
- ・指や鉛筆で作品を指していないか
- ・手をつないだり、肩を組んだりしながら鑑賞していないか
- ・壁にもたれていないか
- ・話し声が大きくなっていないか など

★万が一、鑑賞中に児童・生徒が僅かでも作品に触れてしまった場合は、スタッフに速やかに報告してください。学芸員が作品の状態を確認します

③ 活動記録用の写真撮影については、以下の点にご注意ください

- ・コレクション展では、一部撮影禁止の作品を覗いて撮影することが可能です
- ・三脚・フラッシュは使用できません。
- ・作品が写り込んでいる写真の公開については、著作権の侵害にならないようご注意ください。

■その他の注意事項

- ・展示室に持ち込む必要があるものは、小さな手提げや斜め掛けに分けてお持ちください。
- ・展示室内では、携帯電話やスマートフォンでの通話をご遠慮ください。
- ・美術館内では、大きな声での注意や指示、集合のための号令等はご遠慮ください。

★引率の先生方には児童・生徒の見守り活動をしていただくため、観覧料を免除しています。先生方の展示室の作品鑑賞は、下見時にお済ませください。